

# 都城市認知症高齢者等見守りシール交付事業

## 「どごシル伝言板」を「保存」してください

◎問い合わせ いきいき長寿課 ☎23-3184

認知症になっても安心して暮ら  
し続けられるまちへ

市では、認知症徘徊対策のため、認知症高齢者等見守りシール交付事業「どごシル伝言板」に取り組んでいます。「どごシル伝言板」とは、認知症の人などが行方不明になった際に、衣服などに貼ってあるQRシールを発見者が読み取ると、家族などに通知が送られ、早期の帰宅につながる仕組みです。

利用時はチャット形式のWEB伝言板上でやり取りし、氏名や住所などの個人情報を入力は不要です。

### 「どごシル伝言板」の概要

- 対象者
  - 市内に在宅で生活し、徘徊により行方不明となる恐れのある、次のいずれかに該当する人
    - ・65歳以上である
    - ・認知症と診断されている など



市民の健康増進のため、認知症予防を図る市民限定無料サービス「スマイルみやこんじよ」を公開しています。

◎問い合わせ  
デジタル統括課 ☎23-2156

### 【お申し込み】

本サービスの設定手順について、本紙7月号10頁掲載のQRに一部誤りがありました。正しい手順は本記事の利用方法のとおりです。おわびして訂正します。

### 物を忘れやすかったり心配が みやこんじよ「脳トレ」

脳トレ開発者の川島隆太博士が開発した「みやこんじよ脳トレ」。6種類のトレーニングゲームでは、次

- 申請者
  - 対象者を現に介護している人などのうち、次のいずれかに該当する人
    - ・認知症高齢者等と同居している親族
    - ・認知症高齢者等と同居している親族で、市内に住所がある
    - ・認知症高齢者等を支援している介護支援専門員または地域包括支援センター職員 など

このシールに  
気付いてください

あなたの支援が必要です  
※QRの読み取りで  
家族などに連絡できます

●シールの貼り付け例

紹介動画

- ※申請受け付け後、QRシール50枚セット（初回限り無料）を配布
- 【対象者を見かけたら】
  - ①さりげなく見守る
  - ②困っている様子であれば、視界に入ったところで優しく声を掛ける
  - ③QRシールを読み取り、家族などやり取り

のような効果が期待できます。

- ・物忘れが気にならなくなる
- ・安全運転の維持、仕事や家事の効率がよくなる
- ・脳のパフォーマンス向上

このほか、トレーニングにより幅広い世代に効果が見込めます。



楽しいトレーニングが6種類！  
毎日実施すると、より効果的

### 脳トレ以外にもさまざまな サービスが充実

ビジネス書をはじめ、新刊やベストセラー、名著を1冊10分で読める本の要約サービス「Read」や、ビジネスから教養まで幅広い講座を受講

できる学習サービス「gacco」、誰もが簡単にできる運動を集めたトレーニングプログラムなど、市民限定で無料サービスを提供しています。



AIを活用したサービス「キャラクターカーAI」では、料理のレシピや文章作成のお手伝いなどについてAIキャラクター「都城ノ進」の会話を楽しむことができます。



### 利用方法

#### 【STEP1】

本サービスのログインに必要な都城IDは、XIDというデジタルIDをもとに発行されます。

XIDの作成にはXIDアプリのインストール、スマートフォン、マイナンバーカード、マイナンバーカードの署名



「どごシル伝言板」で支援の輪を広げましょう！

大変！おばあちゃんが  
いなくなっちゃった！

何かお困りの様子…  
衣服のQRに  
アクセスしよう

発見

伝言板に  
アクセス

発見者

この画面は家族などと  
発見者のみが見ることが  
できます

自動メール受信

おばあちゃんが  
みつかった！

家族など

24時間 365日  
素早く連絡が取れる！

用電子証明書の暗証番号（6桁以上）、メールアドレスが必要。STEP2

都城ID

都城 ID

次のQRから都城ID作成・ログイン画面を開きます。「XIDアカウント」をタップ。

STEP3

XIDアプリが開くので、事前に設定した暗証番号を入力する。※認証が完了したらプロフィールを設定して、登録完了

※設定の仕方が分からない人は、本庁舎地下1階マイナンバーカードサポートセンター内で設定支援（9時～16時）を実施しています。気軽に相談ください